



紙面のガーデニング
被災地：復興に願いを込めて(女川町へ)

URAWAGAKUIN HIGH SCHOOL

浦学だより

Vol. 86

☎ 336-0975

埼玉県さいたま市緑区代山 1 7 2

TEL 048-878-2101 FAX 048-878-3335

http://www.uragaku.ac.jp/

発行者 浦学院高等学校広報渉外部

編集者 浦学院高等学校企画部

2011.10.1

第93回全国高校野球選手権大会

～結果報告とお礼～

ベスト4

7月9日に開幕した第93回全国高校野球選手権大会では、皆様のあたたかいご声援をたくさん頂き、誠にありがとうございました。結果はベスト4ということで残念ながら甲子園出場はなりませんでしたが、今後もご声援よろしくをお願いいたします。

本校の試合は2回戦の草加東高校との試合からスタートしました。この試合では10-0とコールド勝ちを収め、幸先のよいスタートを切ることができました。続く3回戦は西武文理高校に9-2で勝利し、

4回戦は武蔵越生高校に4-2で勝利、5回戦は成徳大深谷高校に7-0と圧倒的な強さで順調に勝ち進みました。

そして、いよいよ準決勝の秀明英光高校との対戦では、1学年応援日ということもあり、その他たくさんの生徒たちが応援に駆けつけてくれました。生徒たちの応援が届け、結果は10-5で勝利。たくさんの声援に包まれました。

1日空いて行われた準決勝は、花咲徳栄高校との対戦でした。この日は2学年応援日ということで、またまたたくさんの声援を受けての試合でした。

試合は1回からランナーを出すもお互い無得点のまま進むという激戦となり、試合が動いたのは4回の表でした。相手のヒットが続き1点を先制されると、バントでチャンスを広げられそこからヒットを打たれるという展開でこの回2点を失ってしまいました。しかし5回裏の本校の攻撃では、2塁打でランナーが出るという場面もあり、この回5連打の猛攻で2点を返し、見事試合を振り出しに戻しました。

その後、ヒットは出るものの得点には結びつかず、相手には6回に1点、7回に2点、8回に1点を追加され6-2とリードを広げられてしまいました。そして最終回の9回の裏、3本のヒットが出て、ねばりを見せたものの得点にはならず、最後のバッターが三振に終わり試合終了となりました。

この日まで甲子園を目指し、一生懸命練習してきた選手はもちろん、ファイヤーレッズの応援生徒たち、保護者の方々も悔しさの涙が溢れていました。それは努力した者だけが流せるさわやかな涙で、一生の宝物になるのではないのでしょうか。私たち浦学ふぁみりーは『がんばる仲間をみんなで応援』をスローガンにしていますが、今回の試合を応援するスタンドの姿は、まさにその言葉通りの姿でした。今回は残念ながら甲子園に出場できませんでしたが、野球部の今後の活躍に期待しています。



部活動大会報告

男子ハンドボール部

3年F組 松本 和
(三郷市立北中学校出身)

私たち男子ハンドボール部は、新人戦で3位という結果で終わってしまった悔しさをバネに毎日練習にはげ、インターハイ予選では浦学のファイヤーレッズが応援する中、川口東高校に大差をつけて優勝することができました。

そして、7月29日から8月3日まで、被災地である岩手で行われたインターハイに出場しました。1、2回戦は順調に進み、3回戦、大分県代表の大分雄城台高校と対戦しました。しかし、普段通りのプレーができず負けてしまい、結果はベスト16でした。大事な場面で普段通りの力が発揮できなかったことが自分たちの甘さだと感じました。この3年間、厳しく指導して下さった岩本先生をはじめ、応援していただいた保護者の方々、浦学の応援団の方々には本当に感謝しています。後輩達には自分たちの結果を越すように頑張ってもらいたいです。これからも浦学ハンドボール部の応援をよろしくお願いします。



インターハイ出場

男子テニス部

3年K組 齋藤 拓也
(さいたま市立木崎中学校出身)

私達男子テニス部は、インターハイ団体戦に3年ぶりに出場を果たすことができました。また、個人戦でも2名出場することができました。

インターハイでは、ベスト16というとても悔しい結果に終わってしまいました。しかし、日頃の練習の成果に報われた瞬間もあり、この大会を通じてとても大きな感動を得ることができました。また、私達のプレーで他の方々に感動を与えることができたのなら、さらに嬉しく思います。この経験は私達にとって生涯の糧となり、忘れられないものになると思います。

そして、私達を常に支えてくださった顧問の先生方をはじめ、一生懸命に応援してくださった保護者の方々や部員など携わってくれた全員の方に感謝をいたします。これからも1・2年生を中心にテニス部はさらに上を目指して頑張っていきますので、応援よろしくお願いします。



女子テニス部

2年M組 秋元 玲乃
(入間市立東金子中学校出身)

私達女子テニス部は、インターハイ予選で激戦の末、決勝で負け、団体で出場することはできませんでした。しかし、個人戦で出場することができました。個人戦のシングルスでは、その悔しさをバネに試合に挑みました。しかし、2回戦負けという結果に終わり、全国という舞台の厳しさを痛感しました。

今回たくさんの事を感じ、学んだので、この経験を決して無駄にしないよう、今後のチームに良い形で残していきたいと思っています。

最後に今まで全力で支えていただいた顧問の先生方、保護者の皆様、関係者様、そして部員全員に感謝の気持ちを忘れずに、これからも部活に励んでいきたいです。



パワーリフティグ部

部活動大会報告



全国大会優勝！

3年R組 天野 敬太
(越谷市立武蔵野中学校出身)

私達パワーリフティング部は、7月30日に行われた全国大会に出場しました。部員全員が全国大会団体優勝を成し遂げる為に丸一となって手にした団体優勝は本当に嬉しく、私達にとってとても大きなものだと思います。これから私達3年生が引退した後、後輩達が私達の意味を受け継いで、この団体優勝を守り抜いてほしいと思います。また、私は、この部活を通して本当にかけがえのない仲間達を作ることができました。この仲間達とは卒業後もずっと関わっていきたくて考えています。このような環境を提供してくれた学校とずっと面倒を見てくれた顧問の先生方、共に努力した部活の仲間達に本当に感謝したいと思います。

全国大会出場

ソングリーダー部

3年L組 篠原 沙英 (さいたま市立岸中学校出身)

私達SPLASHは、8月20日船橋アリーナで行われた『USA Novice Champion Ship 2011』という大会に出場しました。全国から集まった素晴らしいチームばかりの中、日頃の練習の成果が出せるようにリラックスしようと努めましたが、1年生は、もとより、チームメイト全員が緊張でいっぱいでした。本番では、私達のモットーである「笑顔と元気」で乗り切ることができ、第2位という成績をおさめられ、3年生にとっての最後の大会を悔いなく過ごせたと思います。私達を応援して下さいました全ての方々に感謝し、次の大きな目標に向かいたいと思います。



フレッシュマンキャンプ



私は、フレッシュマンキャンプを通して改めて「集団行動の大切さ」を学びました。今回のこのフレッシュマンキャンプではグループや班のメンバーと協力しながら行動する場面が多く見られました。例えば、オリエンテーリングでは、道に迷った時には途中で会った他クラスのグループとも話しながら各ポイントへ行きました。また、バーベキューではしっかりと役割を分担し仕事をする事で効率よくスムーズに作る事が出来ました。その結果、作った焼きそば等は班のメンバーと楽しく美味しく食べることができました。



また、他の中学校や小学校の生徒とすれ違った時にはお互いにあいさつをすることでとても気持ちが良くなりました。あいさつだけでも交流できた気がしました。

このフレッシュマンキャンプでは集団行動以外でも、沢山のことを学びました。私はこの2日間、とても充実した楽しい時間だったと思います。

芸術鑑賞会

3年Q組 遠藤 公歩 (春日部市立大増中学校出身)

私は今回の芸術鑑賞会で「THE SOULMATIC」のゴスペルミュージックを聴きました。今まであまり耳にしたことがない音楽ジャンルだったので、とても興味を持ち、楽しみにしていました。

開演と共に迫力のある美しい歌声が開場に広がりました。想像していたものよりもはるかにダイナミックで、一瞬息が止まりました。主にポジティブな歌が多く、1つ1つの曲に意味が込められており、聴いている私たちにも思いが伝わってきました。

また、本校の校歌がゴスペル化され、普段私たちが歌っているものとは全く異なり、歌い方によって180度変わることには驚きました。

3月11日の大震災を機につくられた「Song for life」では、命について改めて考えられ、涙が出て来ました。歌を通して誰かに思いや願い、祈りを伝えていく歌の力に感動し、そして胸に響きました。ぜひもう一度聴きたいです。



【浦学ふぁみり～応援写真コンテスト】に応募しよう！

昨年に引き続き「がんばる仲間をみんなで応援」をスローガンに「浦学ふぁみり～応援写真コンテスト」を実施します。

日程

- 応募締切
2011年11月30日(水)
- 投票期間
3年生………2012年1月16日(月)～20日(金)
1・2年生………2012年1月30日(月)
- 結果発表
2011年2月6日(月)

応募方法

1. 対象 部活動、学校行事、ボランティア活動など学校生活での生徒の様子
2. 提出物 ①写真、SDカード、USBメモリーのいずれか
②応募用紙 ※(用紙は学校に用意しています。または下記ホームページからも印刷できます。)
応募者名、撮影日、大会・イベント名、撮影シーンの説明を記入※生徒の場合は学年・クラスも記入
3. 提出方法 生徒・保護者の方(生徒を通じて)⇒各クラス担任

* 部活動大会の応援時撮影写真など、生徒のみなさんはもちろん、保護者の方々からもたくさんのご応募をお待ちしております。お子様を通してご応募ください。

※学校の情報が満載のHP「浦学ふぁみり～」(<http://www.uragaku.ac.jp/family/>)は、浦和学院高校ホームページ→浦学ふぁみり～からご覧になれます。

～特進 夏季進学講座～

特進類型では、7月26日から30日までの5日間、長野県の車山にて夏季合宿進学講座を行いました。

今回の合宿は全学年、英語・数学・国語（古典）の3科目に的をしぼり、学力の向上を図りました。それぞれの科目での目標も掲げられ、5日間でその目標を達成するために精一杯頑張っている姿はとても素晴らしかったです。

また、1、2年生は、今回の合宿から通常の授業とは異なるグループワークの時間を設け、各グループでいくつかの問題に取り組みました。終了後、「○○君（さん）のおかげで難しい問題が解けるようになりました」「自分の弱点が分かった気がする」などグループワークから得たことも多かったようです。

3年生は、通常の授業＋自習でしたが、自分のやるべきことを明確に持っているの、自習も【さすが】という言葉しか見当たりませんでした。

各学年、得るものがたくさんあった合宿だったように思います。その得たものを今後の勉強、大学受験に役立ててほしいと思います。



「23年度 受験シーズンに向けて」

最近、毎年のように大学の入試制度は変化していますが、昨年は今までの以上にその変化が大きかったように感じます。また、その傾向は今年さらに強くなるのが予想されます。

昨年の入試を振り返ってみると、AO入試や推薦入試が厳しくなったことが最も印象的でした。どの大学も、軒並み一般入試での募集人数を増やし、その一方でAO入試・推薦入試の枠を削っています。これは一般入試での合格者の方が入学後の成績が良いこと、特にAO入試での入学者の進学率が高いことが原因だと思われる。AO・推薦での合格者を絞り込むために、試験内容も難化傾向にあります。中でも、小論文は以前に比べて求められる必要になってきています。このように状況に対応するため、本校で毎年実施している、3年生に対する「夏の進学講座」では、小論文のデキリストを一新しました。一般入試対策としては、今年度より「オランダマンド講座」を導入しています。重要なのは、どのような入試方法であれ、正確な情報を手に入れ、しっかりと対策をすることです。

進路指導部長

高橋 広和

大学・短大 説明会

7月6日。毎年、梅雨のさなかに行われる恒例行事の大学短大校内説明会が行われました。今年度は77校という最大規模での開催となりました。しかし、前日の予報は雨。開催する側としては、非常に憂鬱な気持ちになりました。ところがこの日は雲一つない好天。前後の日程が雨であったことを考えると、3年生の未来を暗示させるようないい日となりました。

8時45分。開始1時間以上も前に、大学関係者が続々と来校してきました。予想以上の早さにどたばたと準備に追われるなか、大学側の心意気が伝わってきます。もう何回かの校外での説明会や、オープンキャンパスに参加している生徒もあり、その際の説明で、大学関係者も非常に好感をもっており、是非とも受験してもらいたい、その気持ちが開始1時間前の来校となったようです。

9時30分。生徒が集まってきました。早い生徒は9時くらいから登校しており、大学関係者に負けず劣らず、生徒側も気持ちが入っているようです。

10時。相談開始です。人気校はあっという間に教室が埋まり、廊下には順番を待つ生徒であふれています。自己アピールをする者、入試方法や大学のアドミッションポリシーを聞くもの、様々な相談が行われています。

12時。説明会が終了する時刻です。しかし、いくつかの大学は未だ人であふれており、相談時間が延長されています。結局終わったのは1時過ぎになりました。

終了後、窓口で説明会を終えた複数の大学関係者からこんな話を伺いました。「御校の生徒は学部学科を決めているだけでなく、大学で学びたいこと、目標、そして卒業後のビジョンまで持っている。非常に素晴らしい」

こういった賛辞は3年生が平日頃から準備をしていた成果であると思います。いよいよ受験の山場が本格的にやってきます。みなさん、未来に向かって前進しましょう。

3学年進学指導主幹 刈込暁夫



ボランティア活動

3年N組 中村 拓

(さいたま市立内谷中学校出身)

活動場所 介護老人ホーム

活動内容 高齢者への介護や手伝い

私は、3月11日と19日に初めて、老人ホームで本格的な介護ボランティアをした。まず、11日は、高齢者の方々にお菓子を配るというイベントの手伝いをした。現地のヘルパーさんの方々はもちろん、介護を受けている方々にも私達を温かく迎えてくれて、逆に感謝の気持ちを持ちつつ、恩返しという意味も込めて精力的に働いた。人のために汗を流して働くというのは素晴らしいこともあり、清々しい気持ちを実感した日だった。

19日は、カラオケ大会という事もあり、11日よりさらににぎやかで、たくさんの人々に会えた。普段歌う機会がない高齢者の方々が気持ち良さそうに歌う姿に、私達も思わず楽しく参加させてもらい、非常に充実した日となった。

震災の影響もあり、たった2日間だけの活動となったが、貴重な体験を多くさせてもらい、社会勉強の1つとして、これからもこの体験を活かしていきたいと思う。また機会があれば、是非やりたいと考えている。

3年G組 久野 未稀

(川口市立南中学校出身)

活動場所 アジア・アフリカとともに歩む会事務局

活動内容 南アフリカに送る本の仕分け作業

今回のボランティアは、私の人生初のボランティアでした。その内容は、南アフリカの子供達に送る本を整理し、箱詰めする作業でした。私は、高校の友人3人と行きましたが、他にも大学生が来ていたり楽しんでいるボランティアができました。T A A Aの方々がこのボランティアの主旨と活動内容をわかりやすく説明してくださり、動きやすかったです。活動中に私達が整理し、ダンボールに詰めた本は、いつ南アフリカの子供達に届くんだろう、本を見たその子供達はどんな顔をするんだろうと考えていました。私達が間接的にも子供達を笑顔にさせることができた時、私は本当にこのボランティア活動に参加することができてよかったと思うと考えます。しかし、現実的にそれは不可能に近いことなので、笑顔になってくれていることを想像します。少しでも助けになれたのなら幸いです。またこれからもボランティア活動をやりたいと改めて思いました。今回参加できて本当に良かったです。

東川口駅周辺の清掃活動

1学期期末テストの答案返却日（7月7日）、交通委員による東川口の駅周辺の清掃活動が行われました。スクールバスの降車場でもあり、浦学生の大半が駅を利用して通学しています。いつもお世話になっている駅を少しでもきれいにしようと、交通委員みんなががんばっていました。

約1時間の活動でしたが、道端や花壇の植え込みの隅々までごみを収集しました。今回清掃活動に参加した交通委員の生徒たちは、黙々と取り組んでいました。





石巻市立鹿妻保育所でふれあう浦学生



科学の祭典 楽しく遊ぶ石巻市民



女川町立病院へ 生徒全員の千羽鶴



科学の祭典 携帯型心電計促進

東日本大震災復興発展支援プロジェクト 「笑顔・希望」— 明日へ

東日本大震災発生から半年が経過しました。本校では、大震災の教訓を教育に活かす、そして「常に前向き!! 何かを感じ、考え、すぐに実行する」ことが積極的な行動への指針となっています。

「今、浦学にできること」として、大震災直後から物資・復興支援へとさまざまな活動を展開しています。その活動は生徒・保護者の皆様からはもとより、多くの浦学ふぁみり～の方々からいただいた義援金により支えられています。9月5日現在、1,523,704円となりました。皆様からの大切な浄財は「現地に役立つ、浦学にしかできない支援」として大切に運営させていただきます。

今後も「息の長い支援活動」を行ってまいります。紙面をお借りして中間報告させていただくと同時に心から御礼申し上げます。

東日本大震災対策本部

浦学ふぁみり～義援金

中間報告 1,523,704円

【活動報告】 「2・3」は義援金支出、「1・4・5・6」の経費は学校支出。

- 宮城県石巻周辺地域(石巻市・東松島市・登米市・女川町)へ6回の現地直接支援を行いました。
 - 浦学散水車を石巻市へ派遣し、街中清掃などに役立ちました。
 - 地域等から回収したペットボトルに入れた生活用水は、給水タンクを運べないお年寄りに大いに役立ち、感謝されました。
 - (パン・水・カップ麺は物資提供が目立ったため。)お煎餅やお茶、枕などを豊富に支援し喜ばれました。
- 石巻市内各団体に義援金からプレゼントさせていただきました。
 - 鹿妻・渡波保育所 サイズの合った運動靴160足。
 - 鹿妻小学校子鹿クラブ 野球ボールや浦学グッズ。
 - 石巻・女川少年野球協議会 野球スパイク500足。
 - 湊第二小学校レッドライオンズ バasketボール得点板
- 6月、東松島市のサッカー少年団FCインパルスに浦学合宿所に招待し(写真)、さいたま市内のスポーツ少年団との試合、元Jリーガー都築選手とのミニゲーム、埼玉スタジアム見学など盛りだくさんの時間をプレゼントしました。
- 女川町復興祭には、七夕短冊や千羽鶴を全校生徒で作成しお届けしました。今でも、女川町立病院に女川湾をバックにして飾られています。
- 登米市南方翔裕園には、保健医療クラス7名の生徒がボランティアに参加し、老人介護福祉施設にて介護補助等の貴重な体験をしました。
- 「青少年のための科学の祭典 石巻大会」に招待され、出展班10名、見学班36名の生徒たちが参加しました。山岳部は「楽しく遊ぼう!ロープワーク」、保健医療クラスは「いつでも どこでも だれでもできる携帯型心電計」コーナーを開設し、173名の方々に「安心」をお伝えすることができました。さらに、被災者の方々とのコミュニケーションは何よりも貴重な体験になりました。

◆10月8日(土)は、生徒会主催「白翔祭」によるチャリティーバザーを行います。



浦学合宿所へ招待 サッカー部員からプレゼント



石巻市立湊第二小学校へ バスケ得点板寄贈



夏休み工事報告

毎年急ピッチに進められている施設設備の改修工事。今夏の大規模工事は、震災損壊箇所修繕・耐震予備調査・第3校舎昇降口改修工事(写真)でした。下駄箱も新調され、弁当売り場もリニューアルされました。生徒の皆さんには、気持ち良く、そして大切に使用して欲しいと願っています。